

大豆特報

魚津市
魚津市農業技術者協議会

大豆の苗立ちは、単作及び麦跡ともに概ね順調ですが、梅雨入り後の降雨の影響で、生育が停滞しているほ場がみられます。

大豆の初期生育を促すため、排水対策の徹底とあわせて、晴れ間を逃さず、培土作業を行いましょ。

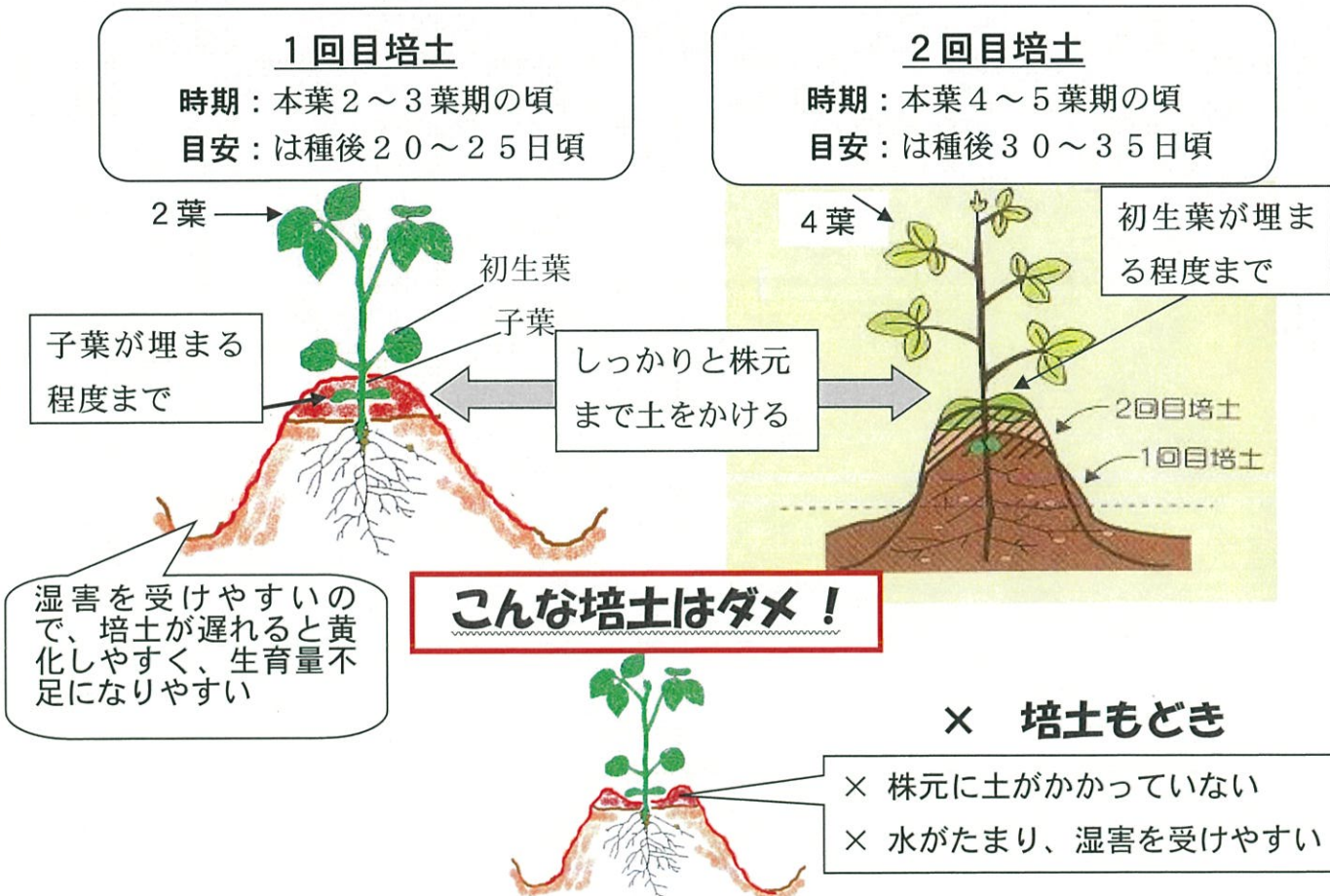
1 排水対策

- 培土後にできた溝は、額縁排水溝や低く掘り下げた排水口に連結し、溝に水がたまらないようにしましょ。
- 降雨後に、溝の連結や排水溝の崩れた部分の手直しを行い、雨水が停滞しないように点検・補修しましょ。

2 培土 ～排水の促進、根域の拡大、雑草の抑制、倒伏防止に効果～

【作業のポイント】

- ① 培土作業は適期を逃さずに行いましょ。
- ② ほ場が乾いている時に作業をしましょ。
- ③ 株元までしっかり土を寄せましょ。



生育促進・収量増加のため、培土は遅れず実施しましょ。

3 雑草防除

～草種にあわせて、適期に除草剤を散布する～

【畑地1年生雑草（イネ科雑草を除く）】

除草剤名	使用方法（10aあたり）	使用回数	使用時期
大豆バサグラン液剤	・薬剤100～150ml 希釈水量100ℓ	1回	大豆2葉期～開花前 雑草の生育初期～6葉期 (雑草茎葉散布または全面散布) 但し、収穫45日前まで

- 1) 散布時期の目安は、大豆のは種後20～25日頃（大豆の本葉2～3葉期）です。
- 2) イネ科雑草には、効果はありません。

【1年生イネ科雑草】

除草剤名	使用方法（10aあたり）	使用回数	使用時期
ポルトフロアブル	・薬剤200～300ml 希釈水量50～100ℓ	1回	イネ科雑草（スズメカサネを除く） 3～10葉期 但し、収穫30日前まで
ナブ乳剤	・薬剤150～200ml 希釈水量100～150ℓ	1回	イネ科雑草（スズメカサネを除く） 6～8葉期 但し、収穫30日前まで

- 1) イネ科雑草のみを選択的に枯死させます。
- 2) 茎葉処理剤なので、イネ科雑草が生え揃った初期の段階に遅れず散布しましょ。

【非選択性茎葉処理除草剤による畝間処理】

除草剤名	使用方法（10aあたり）	使用回数	使用時期
バスタ液剤	・薬剤300～500ml 希釈水量100～150ℓ	3回以内	畦間処理（雑草生育期） 株間処理（大豆の本葉5葉期以降） 但し、収穫28日前まで
ザクサ液剤	・薬剤300～500ml 希釈水量100～150ℓ		雑草生育期（畦間処理） 但し、収穫28日前まで

- 1) 非選択性除草剤なので、大豆にかからないように十分に注意しましょ。
- 2) 乗用管理機での散布は「つり下げノズル」を使用し、噴口はできるだけ低くし、大豆の本葉にかからないように散布しましょ。

「守ろう 農薬ラベル 確かめよう 周囲の状況」

～ 令和5年度農薬危害防止運動実施中：4月13日～9月14日 ～